

(講座) 環境薬科学

(研究室) 衛生化学

(氏名) 中山守雄

(職名) 教授

【研究テーマ】

1. 栄養素としてのセレンウムに関する研究
2. ヒトの健康に関わる金属元素に関する研究
3. 金属と医療に関する研究
4. 環境及び生体微量物質のための機能性材料の開発に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. M. Ono, Y. Maya, M. Haratake, M. Nakayama : Synthesis and characterization of styrylchromone derivatives as β -amyloid imaging agents, *Bioorganic and Medicinal Chemistry*, 15, 444-450 (2007) (IF:2.624)
2. M. Haratake, S. Hidaka, M. Ono, M. Nakayama : Preparation of an ion-exchangeable polymer bead wrapped with bilayer membrane structures for high performance liquid chromatography, *Analytica Chimica Acta*, 589, 76-83 (2007) (IF:2.894)
3. M. Haratake, J. Takahashi, M. Ono, M. Nakayama : An assessment of Niboshi (a processed Japanese anchovy) as an effective food source of selenium, *Journal of Health Science*, 53, 457-463 (2007) (IF:0.793)
4. M. Ono, Y. Maya, M. Haratake, K. Ito, H. Mori, M. Nakayama : Aurones serve as probes of β -amyloid plaques in Alzheimer's disease, *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 361, 116-121 (2007) (IF:2.855)
5. M. Ono, M. Hori, M. Haratake, T. Tomiyama, H. Mori, M. Nakayama : Structure-activity relationship of chalcones and related derivatives as ligands for detecting of β -amyloid plaques in the brain, *Bioorganic and Medicinal Chemistry*, 15, 6388-6396 (2007) (IF:2.624)
6. M. Ono, M. Haratake, H. Mori, M. Nakayama : Novel chalcones as probes for in vivo imaging of β -amyloid plaques in Alzheimer's brains, *Bioorganic and Medicinal Chemistry*, 15, 6802-6809 (2007) (IF:2.624)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Ono, M. Haratake, M. Nakayama : Novel chalcones as probes for in vivo detecting of β -amyloid plaques in Alzheimer's disease, *Society of Nuclear Medicine 54th Annual Meeting*, Jun. 2007 (Washington D.C.)

2. M. Haratake, S. Matsumoto, M. Ono, M. Nakayama : NANOPARTICULATE GLUTATHIONE PEROXIDASE MIMICS BASED ON SELENOCYSTINE-PULLULAN CONJUGATES, International Symposium on Metallomics 2007, November(Nagoya)
3. M. Hongo, M. Haratake, K. Fujimoto, R. Hirakawa, M. Ono, M. Nakayama : A study of selenium export mechanism from red blood cells, International Symposium on Metallomics 2007, November(Nagoya)

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 堀みゆき, 小野正博, 原武衛, 中山守雄 : カルコンを基本骨格とする新規アミロイドイメーシングプローブの開発, 日本薬学会第127年会, 2007年3月(富山)
2. 渡部瑠美, 小野正博, 河嶋秀和, 佐治英郎, 原武衛, 中山守雄 : アルツハイマー病の診断を目的とした新規PET用アミロイドイメーシングプローブの開発(カルコン誘導体の合成と評価), 日本薬学会第127年会, 2007年3月(富山)
3. 畠中瑛介, 原武衛, 小野正博, 中山守雄 : 新規N-メチルグルカミン型樹脂を用いる $^{68}\text{Ge}/^{68}\text{Ga}$ ジェネレータの開発, 日本薬学会第127年会, 2007年3月(富山)
4. 真矢啓史, 小野正博, 原武衛, 中山守雄 : 脳内アミロイド β ペプチドの検出を目的とした放射性ヨウ素標識オーロン誘導体の開発, 日本薬学会第127年会, 2007年3月(富山)
5. 祖母井香織, 小野正博, 西田教行, 片峰茂, 原武衛, 中山守雄 : プリオンを認識するアミロイドイメーシングプローブとしてのベンゾフラン誘導体の評価, 日本薬学会第127年会, 2007年3月(富山)
6. Kazuma Ogawa, Katsuichi Ohtsuki, Morio Nakayama, Masahiro Ono, Masashi Ueda, Tomoki Doue, Kazuhiro Shiba, Hideo Saji, Hirofumi Mori : Development of a novel $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -labeled Annexin A5 for apoptosis imaging, 第17回金属の関与する生体関連反応シンポジウム, 2007年6月(京都)
7. Mamoru Haratake, Mihoko Miyauchi, Masahiro Ono, Morio Nakayama : An in vitro study of blood metabolism of an unnaturally occurring selenium-source, penicillamine selenotrisulfide, 第17回金属の関与する生体関連反応シンポジウム, 2007年6月(京都)
8. 畠中瑛介, 原武衛, 小野正博, 中山守雄, 五十嵐隆 : N-メチルグルカミン型樹脂を用いる $^{68}\text{Ge}/^{68}\text{Ga}$ ジェネレータの開発と応用, 第47回日本核医学会学術総会, 2007年11月(仙台)
9. 渡部瑠美, 小野正博, 河嶋秀和, 佐治英郎, 原武衛, 中山守雄 : カルコンを基本骨格とする新規PET用アミロイドイメーシングプローブの開発, 第47回日本核医学会学術総会, 2007年11月(仙台)
10. 真矢啓史, 小野正博, 原武衛, 中山守雄 : アルツハイマー病診断用新規アミロイドイメーシングプローブの開発-オーロン誘導体の合成と評価, 第47回日本核医学会学術総会, 2007年11月(仙台)

11. 畠中瑛介, 原武 衛, 小野正博, 五十嵐 隆, 中山守雄: N-メチルグルカミン型樹脂を用いる $^{68}\text{Ge} / ^{68}\text{Ga}$ ジェネレータの開発とPET用 ^{68}Ga 標識薬剤調製への適用, 第24 回日本薬学会九州支部大会, 2007年12月(福岡)
12. 真矢 啓史, 小野 正博, 原武 衛, 中山 守雄: アルツハイマー病の早期診断を目的とした新規SPECT用アミロイドイメージングプローブの開発, 第24 回日本薬学会九州支部大会, 2007年12月(福岡)
13. 渡部瑠美, 小野正博, 河嶋秀和, 佐治英郎, 原武 衛, 中山守雄: アルツハイマー病脳内アミロイド β 蛋白の検出を目的としたPET用イメージングプローブの開発, 第24 回日本薬学会九州支部大会, 2007年12月(福岡)
14. 祖母井香織, 小野正博, 新 竜一郎, 西田教行, 片峰 茂, 河嶋秀和, 原武 衛, 中山守雄: プリオン蛋白質結合性化合物の探索と分子イメージングへの応用, 第24 回日本薬学会九州支部大会, 2007年12月(福岡)

【特許】

1. 中山守雄, 原武 衛, 小野正博: アミロイド関連疾患診断のための組成物, 特願 2007-081637, 平成 19 年 3 月
2. 中山守雄, 原武 衛, 小野正博: アミロイド関連疾患診断組成物, 特許第 4000352 号 平成 19 年 8 月
3. 中山守雄, 原武 衛, 小野正博: アミロイド関連疾患診断組成物, 特許第 4000353 号 平成 19 年 8 月
4. 中山守雄, 原武 衛, 小野正博, 片峰 茂, 西田教行: プリオン病診断用組成物, 特願 2007-316987, 平成 19 年 12 月

【研究費取得状況】

1. サイクロトロンを必要としないPET 分子イメージング薬剤製造システムの構築; 科学研究費・基盤研究 (B)
2. 異常型プリオン蛋白質結合性化合物に探索とその分子イメージングへの応用; 科学研究費・萌芽研究

【学会役員等】

1. 日本分析化学会九州支部幹事
2. 日本薬学会 Journal of Health Science 編集委員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	74 編	(邦文)	6 編
総説 (欧文)	2 編	(邦文)	5 編
著書 (欧文)	10 編	(邦文)	5 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
特許	12 件		